

小4国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 87.5%

ねらい：漢字を正確に覚えているか、正確に読めるかを問う。

分析と対策：漢字は読み方を覚え、その漢字の形をしっかりと練習しましょう。どのような熟語があるのかも確認し、その熟語がどのような意味を持つのかも調べてみましょう。

2 漢字の音訓 28.7%

ねらい：漢字の音読みと訓読みを見分けられることができるかを問う。

分析と対策：漢字には、読み方を見ただけでは音読みか訓読みかの判断が難しいものがあります。どの読み方が音読みなのか、訓読みなのか意識して漢字を覚えましょう。

3 漢字の部首 38.8%

ねらい：漢字の部首の理解について問う。

分析と対策：漢字は同じ部分があると同じ部首だと思いがちになってしまいます。しかし、形が同じであっても、部首はちがう場合があるので注意しましょう。

4 文を組み立てることば 65.0%

ねらい：主語・述語・修飾語を見分けられることができるかを問う。

分析と対策：主語・述語・修飾語を見分けるときは、まず先に述語を見つけます。その次に主語を見わけて、そこから修飾語を見つけるようにすると整理しやすくなります。

5 物語の読みとり 58.9%

ねらい：登場人物の行動や会話文などから、それぞれの性格や様子をつかむ。

分析と対策：村上しいこ「元気のもとはこうきしん」からの出題です。おばあちゃんが飼っていたかえるが死んでしまい、落ちこんでいる状況を「ぼく」が心配し、なんとかはげまそうとしています。(1)は落ちこんでいるおばあちゃんの様子に関する問題です。(2)は言葉の意味が問われています。(3)(5)は会話文がどのような意味なのかを読みとります。(6)では「ぼく」の人物像が問われます。おばあちゃんを元気づけようとする「ぼく」のすがたと合うものを選びます。

6 説明文の読みとり 52.5%

ねらい：文章が何についてのべているのかをつかみ、問題に正確に答える。

分析と対策：加藤秀「生きている化石オウム貝」からの出題です。人間にとって「化石」とはどのような意味を持っているのかを読みとります。(1)ではオウム貝が「生きている化石」とよばれる理由が問われます。(2)では、地球の歴史を知ることと化石がどう関係するのかを読みとります。(3)は接続語の問題です。前後の関係を読みとります。(4)では化石の欠点が問われます。(5)は本文全体の内容一致です。本文を丁寧に読みとり、一つひとつの選択肢を吟味することが大切です。

全体の平均点は 58.3点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。